

平成25年度 知水講座
～桜並木に願いをかける貞山運河の復興～

日 時：平成26年1月30日（木）
午後2時～午後4時

場 所：TKP ガーデンシティ仙台 ホールB
（仙台市青葉区中央1-3-1 AER 21F）

主 催：宮城県（宮城県治水協会 共催）

次 第

1. 開 会
2. 挨 拶 〔宮城県土木部長 遠藤信哉〕
3. 貞山運河の復興と桜植樹について 〔宮城県河川課長 門脇雅之〕
4. 特別講演
「人間の都合 自然の都合」 〔第16代 佐野藤右衛門〕
5. 閉 会

貞山運河の復興と桜植樹について

平成26年1月30日

宮城県土木部

1. プロジェクトの趣旨

宮城県には、阿武隈川から松島湾を経て旧北上川まで、全長約49kmにわたる長さ日本一の運河群（貞山運河、東名運河、北上運河）があります。古くは、舟運を目的として、仙台藩主・伊達政宗の命で建設が始まり、後に、明治政府により計画された野蒜築港事業に関連して延伸されたものですが、近年では河川としての役割を担っています。

周辺の松並木と調和した美しい運河群の景観は、その歴史と共に、多くの方々に愛されてきました。運河群の魅力を地域振興に役立てようと、様々な利活用策も検討されてきました。しかし、東日本大震災の大津波によって堤防や護岸が被災し、周辺の松並木も、その多くが流出したことで、美しい景観が失われています。

東日本大震災を契機に、運河群には、津波の多重防御施設という新しい役割が期待されています。災害復旧工事によって、築造400年を超える運河群に、新しい歴史が刻まれることとなります。この機に県では、復旧後の運河群に桜を植樹し、美しい景観の創出によって、運河の歴史に華（花）を添えることにしました。

官民が連携して桜を植え、管理を行い、満開を迎えた桜は、被災者の慰めとなるでしょうし、植樹の経緯を通じて津波防災意識の継承を図ることや、人々の集う魅力的な沿岸地域の復興に役立てたいと考えています。

2. プロジェクトの方針

- 1) 桜の配置は、運河周辺のまちづくり計画や、周辺の自然環境、既存の景観等と調和をもって計画します。
- 2) 官民連携の下で桜の植樹と管理を行い、全国から参加や協力を募ります。
- 3) 運河の復旧工事や、周辺で行われる復興事業と調整しながら植樹を進めます。
- 4) 広く情報発信を行い、参加や協力を広げ、取組みを進めます。

3. 官民連携の具体的枠組み

県では、官民連携の枠組みとして、次のような参加方法を予定しています。

1) 桜植樹ボランティアの募集

- 桜の植樹や管理にご協力いただける方や団体を「桜植樹ボランティア」として募集します。

- また、植樹した桜の育生や管理にご協力いただける方を募集し、桜のアドプト団体「桜スマイルサポーター」への認定も予定しています。

2) 寄附（苗木や資機材の提供、金銭的な寄附）

- 桜の植樹に必要な苗木や、土壌改良材、支柱等の資材をご提供いただける方や団体を「桜資材サポーター」として募集します。
- なお、運河群では潮風の影響が大きいことから、専門家の方々のアドバイスを受けて、適応性の高い品種の桜（ヤマザクラやオオシマザクラ等）を選定していますので、詳しくはご相談下さい。
- このほか、本プロジェクトの趣旨にご賛同いただき、金銭的な寄附をいただける方や団体を募集します。いただいた寄附は、本プロジェクトの財源として活用させていただきますこととしております。

4. お問い合わせ先

○ 宮城県 土木部 河川課

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1

TEL: 022-211-3172, 3173

FAX: 022-211-3197

電子メール: kasen01@pref.miyagi.jp

※ 参加募集の開始時期について

- 現在、運河沿川の自治体や、学識者の方々のご意見を伺いながら計画を検討し、募集要領等の作り込みを進めています。
- 募集登録を開始する際には、県ホームページ等に掲載するなど、広報を行いますので、みなさまのご参加をよろしく願います。